

ユニット	■ 題材名 ● 教材 △ 入れ換え可能教材 ・参考教材	時数	題材の目標	A 表現						B 鑑賞								
				(1)歌唱			(2)器楽			(3)創作		(1)鑑賞						
				ア	イ	ウ	ア	イ	ウ	ア	イ	ア	イ	ウ				
A	■ 歌詞の内容や曲想の変化を味わって ● 花 p.4 ● 荒城の月 p.14 ● 荒城の月(山田耕作 補作編曲) p.75 ・Let's Try! 指揮をしてみよう p.16	4	歌詞の内容や曲想の変化を味わいながら表現を工夫しよう		○													
評価の観点																		
音楽への関心・意欲・態度				音楽表現の創意工夫				音楽表現の技能				鑑賞の能力						
歌詞の内容や曲想，声部の役割と全体の響きとの関わりに関心をもち，音楽表現を工夫しながら合わせて歌う学習に主体的に取り組もうとしている。				音色，リズム，速度，旋律，テクスチャ，強弱，形式を知覚し，それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら，歌詞の内容や曲想を味わい，声部の役割と全体の響きとの関わりを理解して音楽表現を工夫し，どのように合わせて歌うかについて思いや意図をもっている。				歌詞の内容や曲想，声部の役割と全体の響きとの関わりを生かした音楽表現をするために必要な技能を身に付けて歌っている。										

ユニット	■ 題材名 ● 教材 △ 入れ換え可能教材 ・参考教材	時数	題材の目標	A 表現									B 鑑賞		
				(1)歌唱			(2)器楽			(3)創作			(1)鑑賞		
				ア	イ	ウ	ア	イ	ウ	ア	イ	ウ	ア	イ	ウ
C	■言葉の特性や曲想を生かして ●帰れソレントへ p.10 ●Top of the world p.12	3	言葉の特性を理解し，曲想を味わいながら表現を工夫しよう		○	○									
評価の観点															
音楽への関心・意欲・態度			音楽表現の創意工夫			音楽表現の技能			鑑賞の能力						
歌詞の内容や曲想，曲種に応じた発声や言葉の特性に関心をもち，それらを生かして歌う学習に主体的に取り組もうとしている。			音色，リズム，速度，旋律，強弱を知覚し，それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら，歌詞の内容や曲想を味わい，曲種に応じた発声や言葉の特性を理解して，それらを生かした音楽表現を工夫し，どのように歌うかについて思いや意図をもっている。			歌詞の内容や曲想，曲種に応じた発声や言葉の特性を生かした音楽表現をするために必要な技能を身に付けて歌っている。									

ユニット	■ 題材名 ● 教材 △ 入れ換え可能教材 ・参考教材	時数	題材の目標	A 表現						B 鑑賞					
				(1)歌唱			(2)器楽			(3)創作		(1)鑑賞			
				ア	イ	ウ	ア	イ	ウ	ア	イ	ア	イ	ウ	
E	■総合芸術に親しもう ●◎「アイダ」から第2幕第2場 p.28 ●◎能「羽衣」キリから p.33-① ●◎文楽「義経千本桜」から p.36 ・Let's Try! 能の音楽を体験しよう p.34	4	物語の進行を理解し、音楽と舞台が一体となって表現される総合芸術に親しもう					○						○	○
評価の観点															
音楽への関心・意欲・態度			音楽表現の創意工夫			音楽表現の技能			鑑賞の能力						
音楽の特徴と他の芸術との関連、我が国の伝統音楽及び諸外国の様々な音楽の特徴と音楽の多様性に関心をもち、鑑賞する学習に主体的に取り組もうとしている。									音色、リズム、速度、旋律、テクスチャ、強弱を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、音楽の特徴を他の芸術と関連付け、我が国の伝統音楽及び諸外国の様々な音楽の特徴から音楽の多様性を理解して、解釈したり価値を考えたりし、鑑賞している。						

ユニット	■ 題材名 ● 教材 △ 入れ換え可能教材 ・参考教材	時数	題材の目標	A 表現									B 鑑賞		
				(1)歌唱			(2)器楽			(3)創作			(1)鑑賞		
				ア	イ	ウ	ア	イ	ウ	ア	イ	ウ	ア	イ	ウ
F	■混声合唱の深まり ●時を越えて p.20 ●旅立ちの日に p.22	5	歌詞の内容や曲想を味わい、声部の役割と全体の響きとの関わりを生かして表現を工夫しよう												
評価の観点															
音楽への関心・意欲・態度				音楽表現の創意工夫				音楽表現の技能				鑑賞の能力			
歌詞の内容や曲想、声部の役割と全体の響きとの関わりに関心をもち、音楽表現を工夫しながら合わせて歌う学習に主体的に取り組もうとしている。				リズム、速度、旋律、テクスチャ、強弱、構成を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、歌詞の内容や曲想を味わい声部の役割と全体の響きとの関わりを理解して音楽表現を工夫し、どのように合わせて歌うかについて思いや意図をもっている。				歌詞の内容や曲想、声部の役割と全体の響きとの関わりを生かした音楽表現をするために必要な技能を身に付けて歌っている。							

